

2 学期 始業式

令和 4 年 9 月 1 日

新学期が始動しました。残念ながら、1 学期終業式と同様、放送による始業式です。そのため生徒達が、どんな顔で式辞を聞いているのかわからないのが不安です。全校生と一緒に校歌を歌える日が早く来ることを待ち望みます。

今日の式辞は、校長の窓「8 月 16 日 夏の甲子園 2」でも掲載した神戸一中野球部の全国優勝の際のエピソードをもとに話をしました。(詳しくは、そちらをご覧ください)

(式辞を抜粋)

優勝旗授与式後のグラウンド一周の要請を一中生は、「われわれは死力を尽くして目的に到達した。今は休養したいだけ。このうえ、見世物になりたくない。」と言って行進を拒否しました。この目的とは何なのか。それは全国優勝することでしょう。そして全国優勝するための努力をやり尽くすということ、日々の鍛錬を怠らず、自己をコントロールすること。それら目的を達成できたという充実感があったということです。

自分たちの成果を人にアピールする必要などない。自分が納得できたかできなかったか、答えを出すのは自分である。それが「われわれは死力を尽くして目的に到達した。今は休養したいだけ。このうえ、見世物になりたくない。」と言わしめたのではないかと思います。自分が納得できる自分になる。そのために努力をする。

神戸一中、県一高女から受け継いだ神高の精神が、ここにあるのではないかと思います。

時代は変わりますが、神高生として四綱領の精神を追求することは大切なことです。

※写真はありません